



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター
電話：072-838-0400
URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

おもな Contents :

- ボランティアグループ紹介
～寝屋川ハーモニカ同好会～
- 和光校区ボランティア養成講座
- 「協働・連携」などの課題共有
～ボランティアのつどい～

ボランティアセンターは「ボランティア活動見本市」を開きます。市内を中心に活動している団体や個人のみなさんと高齢者施設・地域活動関係者の「橋渡し」としての取り組みです。

ボランティア活動見本市!?

ボランティアセンター初の取り組み



高齢者施設で指体操を教える登録ボランティアグループ

来春3月10日(日)市立保健福祉センターの多目的室で、音楽・踊り・マジックなどの芸能関係をはじめ団体や個人のみなさんなど、特技などを披露する場として開きます。

近年の高齢者増加、それともなう高齢者施設、高齢者・障害者対象のサロン

♪ 出展団体は

福祉施設や地域のサロンなどで、歌や踊り、マジックや楽器演奏、落語などの特技を披露する団体や個人 20 組程度

♪ 来場対象は

- (1) 市内福祉施設のボランティア担当者
- (2) 地域で実施のいきいきサロンなどの担当者
- (3) 市内老人会の担当者
- (4) 上記のほか、ボランティアに対して、活動依頼を考えている団体など

♪ ようすは

- (1) 参加団体・個人の活動披露 (1 組 15 分程度)
- (2) 参加団体・個人と来場者とのマッチング (参加団体・個人ごとにブースを設置)

※ 詳しくは当センターまで

exhibition

exhibition

で①演芸の披露②当事者参加型のミニイベント③「話し相手・傾聴」など癒しや憩いの提供、などの需要が急激に高まっています。

ボランティアセンターで直接需給調整にあたっての相談員は「施設からの派遣依頼と活動中のボランティア団体（個人）との両者

が顔を合わせて相互理解できる機会になると期待しています」。

また、当センター担当者は「自分たちの活動内容を直接披露することにより需給調整の活性化、ボランティア団体・個人の開拓につながると思います」と話していました。

ボランティアセンター紹介

地域との交流深めたい

～寝屋川のハーモニカ同好会～

ハーモニカ同好会は毎月2回、香里自治会館で村上博昭先生(日本芸術協会公認師範)の指導の下に練習。結成して9年になり、現在10人のメンバーで活動中です。

昨年は関西連盟阪奈協議会の演奏会や香里ふれあいプラザや教室での小さな演奏会を実施しているとお聞きしました。
メンバーのIさんは「おかげ様で、メンバーの技術



も上達してきました。これからは、ハーモニカを通して地域の方々との交流を深めていきたいと思えます。

今まで、福祉施設や、フェスティバルでも演奏してきましたが、より一層ハーモニカの美しい音色をみなさまとご一緒に楽しんでみたいと思っています」とのこと。
今後のご活躍を大いに期待しています。(伊藤)

ひとくちMEMO

「社会福祉協議会」って?

住民が主体となって行政や関係団体・専門機関の参加・協力を得ながら、地域住民の福祉の向上をはかるために設けられた自主性と公共性を持った民間の福祉団体です。

シニアでばぶるる「傾聴」V講座

「傾聴」をきっかけづくり

地域活動への参加を望むシニア世代を対象に『傾聴』ボランティアの活動と、関わる頻度の多い認知症についての理解を深め、接し方を学ぶことのできる講座を開きます。(詳細は下表のとおりです)

高齢者や障害のある人からは、ゆっくりと話を聴いてもらうことで、心が落ち着き、元気を取り戻せたという声をよく耳にします。

一方、シニア世代の求めるボランティア活動への、きつかけづくりを目的にした講座でもあります。

講師には笹木庸子さん(活動ネットワーク北河内) 傾聴ボランティア「14の耳」代表と戸田正己さん

(総合福祉コーディネーター センター「晴れ晴れ」ライ

- 日時：
 - 1月22日(火)・29日(火)
 - 2月5日(火)・12日(火) 20日(水)
 - いずれも13:30~15:30
- 会場：市立保健福祉センター 5階 研修室5
- 対象・定員：概ね60歳以上の市内在住・在職の人30人
- 内容：
 - オリエンテーション
 - 講義＝「傾聴」聴き方を学ぶ I・II
 - 演習＝「傾聴」体験その I・II・III
 - 活動紹介
 - 講義＝認知症とは・認知症の理解から関わり方を学ぶ
 - ふりかえりと分かち合い
 - ボランティアセンターの紹介

障害者スポーツ大会に多数のV参加

10月21日、第45回京阪ブロック障害者スポーツ大会が交野市の市民体育館で開かれ、当センターからも10校区のV・摂南大Vサークル「えんじょい」などが参加しました。
参加者から「障害者の人たちやたくさんさんのVと活動できたことに感謝しています。」

フマネージャー)を招いて、
①「傾聴聴き方を学ぶ ② 認知症の理解から関わり方を学ぶなどの講義や演習を予定しています。

※見出し・本文中「V」はボランティアのことです

楽しく勉強にも ～配食V養成講座～



「楽しく実習できて、良い勉強になりました」と参加者の感想

11月17日、和光小学校の家庭科室で、和光校区福祉委員会ボランティア部会との共催で、配食ボランティア養成講座を開きました。参加者は関係者を合わせて44人。

地区ごと6テーブルに分かれ、炊き込みごはん、味噌汁、和風ハンバーグ、煮物、酢の物などを作りました。

進行は、中山部会長を中心に地区リーダーによって、調理作業が進みました。参加者は「校区の方には、子どものことでお世話になっているので、何か役に立てたらと思います」と話していました。

また、スタッフは「毎回季節の素材を30品目以上使うように心がけています。今回の実習をこれからの活動に活かしていきたいと思います」と話していました。



ボランティア活動調整報告

【当ボランティアセンター取り扱い調整分（施設・団体に限定）】

月	活動日	活動先 〔施設・団体〕	活動分野	活動内容	人数	対応 〔ボランティア・校区・団体〕
10	2	さくら草	障害者	訓練補助	2	成美
	5	国松小 支援学級たけのこ3	障害児	行事援助	2	ほうれんそう
	6・17・20・25・26	グリーンヒル淳風	高齢者	行事援助	10	明和・東・明德宇谷・個人
	9・10・11・12・15・16	たのしい家寝屋川	高齢者	行事援助	6	個人
	13	特養いちよう園	高齢者	行事援助	12	明和・梅が丘・個人
	14	百丈山合掌荘	高齢者	行事援助	14	桜・梅が丘・第五・三井・中央
	15	グループホームつかさの家	高齢者	行事援助	4	夢楽らいぶ一座
	15	南病院デイケア室	高齢者	行事援助	12	ひまわり歌謡会
	19	神田校区ふれいあいサロン	高齢者	行事援助	4	歌体操寝屋川グループ
	20	障害児者を守る親の会	障害児者	保育	6	田井石津・池田・桜
	21	障害福祉課	障害者	行事援助	38	国松緑丘・第五・点野 池田・神田・エンジョイ
22	ボランティアセンター		通信折込	2	個人	
11	4	清水町自治会	高齢者	行事援助	1	天満天神の会
	5	グループホームつかさの家	高齢者	行事援助	4	矢車草の会
	6	たんぽぽ支援センター	乳幼児	保育	4	明和
	6	さくら草	障害者	訓練補助	2	西
	9	友遊ほほえみくらぶ	高齢者	行事援助	4	夢楽らいぶ一座
	10	ワークセンター小路	障害者	行事援助	8	東・とっと列車・個人
	10・12・16・20・24	グリーンヒル淳風	高齢者	行事援助	10	明德宇谷・明和・東・個人
	15	筋難病家族の会ひまわり会	障害者	行事援助	1	中央
	17	デイサービスりんく寝屋川	高齢者	行事援助	3	個人
	17	生活介護事業所えるちゃん	障害者	行事援助	3	神田・個人
	20	健康増進課	乳幼児	保育	7	成美・池田・木屋
	21	デイサービスうずまさ	高齢者	行事援助	4	明和
	25	たのしい家寝屋川	高齢者	行事援助	4	夢楽らいぶ一座

～ボランティアのつどい～

「協働・連携」などの課題を共有

活動の参考にしたい

11月25日、市民活動センターと社協ボランティアセンターとの共催でボランティアのつどいを開きました。会場は保健福祉センター5階多目的室で、スタッフ6人含む計49人の参加がありました。

アイスブレーキングではじまった「つどい」は両センターの紹介から、テーマ「正しい協働・連携・ネットワークの作法を学ぶ」「レレレのおじさん」がない寝屋川で街路樹の落ち葉は誰が掃く〜」に入り、花園大学准教授の川島ゆり



子さんのお話を聞きました。

講演後は各班で情報交



(上)「アイスブレーキングで初対面の緊張もほぐれ、楽しいひと時になりました」と参加者。
(下)講師の設問に「ん〜」しばしシンキングタイム・・・が続きます。

平成24年度大阪府社会福祉大会で佐藤美恵子さん(点野校区)と日曜大工ボランティア「とんかちクラブ」(登録ボランティアグループ)が【大阪府社会福祉ボランティア表彰】を受けました。

大阪府社会福祉 ボランティア表彰受賞

佐藤さんは「自分自身は、人の道に外れないことを意識して自助を心掛け、以前母から『何事も自己責任でやりなさい』と言われたことを実践している。ボランティア活動は常にどうしたら喜んでもらえるかを考え、全て自分の栄養になると思い実践している」と。

また、「とんかちクラブ」の森田展生代表は「お年よりの世帯を対象に日曜大工程度の修繕などの活動を続けています。日頃の活動が認められたことはうれしい。これからの活動の励みになる」と話していました。

換・意見交換。続いて班ごとに活動内容から、活動の現状や抱える課題を出し合いました。

担当者は「連携の意味するところを掘り下げる講義内容とワークシートを用いて、所属団体の活動・個人が持つ力・組織のネットワーク(情報・人脈・資源)における強みと弱みを書き出し、それぞれが寝屋川市のこれからの考え、全体で

共有することのできる、有意義な時間になりました。

また、参加者からは「ボランティアの方向を見つめ直すきっかけになり、横のつながり、連携の大切さを知りました。」「レジメや映像があつて解りやすかった。連携の大切さがよく解った。」「多方面のボランティアの意見が聞けた。これからの活動の参考にしたい」などの感想が寄せられました。

□ 訂正 □

前75号(11月1日発行)4面に掲載の「100歳を越えた高齢者の人数は5万1376人。また最高齢者は115歳でした。お詫びして訂正します。」